

なかふくら

～花と作文とあいさつの学校～



南九州市立中福良小学校

育盛（そだちざかり）の挑戦は意味があったか 松井秀喜の名言②

校長 折田 明世

以前、新聞に小さな記事が載っていました。次のような内容です。

大相撲名古屋場所の新弟子検査を体重67kgで合格し、軽量で話題を呼んだ序ノ口の育盛（そだちざかり）(17)＝本名田井雅人（大阪府出身、式部部屋）が引退したことが、秋場所初日の14日、師匠の式秀親方（元幕内北桜）の話で分かった。

同親方によると体調を崩して実家に帰り、両親と相談して決めた。13日に日本相撲協会に引退届を提出した。

たったこれだけの記事です。

以前幕内にいた舞の海関。現役時代の体格は、167cm、97kg。当時は新弟子検査に合格するためには173cm必要で、シリコンを埋め込む手術を受けて合格した話は有名です。

最近の低迷する大相撲人気。そのために、基準が大幅に引き下げられたことによって、育盛もプロになれたということができたわけです。

しかし、それが、たった2ヶ月での引退。

あまりにも早すぎる引退に、皆さんはどういう感想をもたれるでしょうか。

「ほらみろ。プロはそんなにあまくないぞ。」

「そんなに早く廃業するのなら、プロにならなければよかったのに。」

と思われることでしょう。17歳なのであれば、高校を中退して入門したのですから。これから仕事を探すとしても、大変でしょう。

しかし、ここで、松井秀喜の名言を思い出してみましょう。

誰も永久に勝ち続けることはできない。敗戦はつきもので、スポーツは人生の早い段階でそういう感情を乗り越える訓練をする場でもある。

これを育盛に贈る言葉とするならば、こうなります。

育盛が大相撲での痛い敗戦を引きずるのは仕方ない。ただ、どんな思いを抱えていても、先に進む以外にできることはない。誰も永久に勝ち続けることはできない。

残念ながら、苦い思い出はいつまでたっても苦い。失敗を糧に成功を収めても、悔しさは残る。忘れられない。だから人生の糧になるのだ。

今年も、5名の子どもたちが中福良小を巣立っていきます。社会に出たら、辛いこと、苦しいこともたくさんあると思います。しかし、それは人生にとって避けることはできないのだから、部活動等を通して、このような体験をし、そういう感情を乗り越えることができる人間に成長してほしいと願います。



ありがとう 6 年生

3月24日、5名の6年生がいよいよ巣立っていきます。中福良小学校の中心としてみんなを引っ張ってくれた1年間で、6年生から1～5年生は多くのことを学ぶことができました。6年生が築いてくれた歴史と伝統を大切に、在校生みんなの力でさらによりよいものに築き上げてくれることでしょう。いよいよ中学生。ありがとう6年生！そして大きく羽ばたけ6年生！



お別れ遠足

お別れ遠足の前に、感謝の気持ちを表し、6年生にプレゼントを渡しました。6年生からも各学年にお返しをもらいました。今年度は6年生を送る会が中止でしたが、6年生へ思いがたくさん詰まった時間となりました。お別れ遠足では、いろいろな活動をして、かけがえのない思い出を作ることができました。



◆ 4月の行事予定 ◆		
5	火	入学式準備 9:00～11:00 (新2～6年生)
6	水	新任式 始業式 入学式 いじめ問題を考える週間～11日
7	木	身体計測 視力・聴力検査
9	土	土曜授業 集団下校
12	火	スクールガードとの対面式 JRC登録式 ゆめさとタイム
13	水	NRT標準学力テスト(～14日, 2～6年)
18	月	担任と語る会(全保護者対象)～22日
19	火	全国学力・学習状況調査(6年)
20	水	1年生を迎える会 歯科健診
21	木	知能検査(2・4・6年) 内科検診 尿検査一次～22日
22	金	家読(うちどく)の日 交通安全教室
26	火	心臓健診(1年)
27	水	眼科健診 PTA常任委員会

令和4年度 入学式

(第135回入学式)

期日 令和4年4月6日(水)

時間 10:00～10:40

3名の子どもたちが中福良っ子への仲間入りです。先般お知らせしたとおり、来場者を制限して実施いたします。御了承ください。登下校で見かけた際は、温かいお言葉をお願いいたします。

授業参観、学級PTA、家庭教育学級開級式、PTA総会、学校保健委員会は5月20日(金)に開催します。